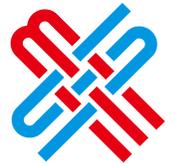


すきです

南信州

竹宵まつり

—100万人のキャンドルナイト in 南信州—



minami
shinshu

ニッポンの日本。

初夏の街並みを彩るろうそくの明かり。美しい自然な明かりが、
精緻な細工を施された竹の中でやさしく灯ります。

電気を消して、環境のこと、家族のこと、考えてみませんか。



- リニア関連・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
- 東日本大震災被災者支援の取組・・・・・・・・・・・・・3
- 飯田広域消防本部から宮城県へ救助隊を派遣・・・・4
- 大規模地震に備える・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5
- 平成23年南信州広域連合議会第1回臨時会・・・・・・6
- 環境センターより・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7
- 飯伊建築業協会に感謝状・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8

圏域内の人口・世帯数
(2011.6)

人	口	168,612人
世	帯	58,637戸

リニア中央新幹線

整備計画 決定・建設指示 着工へ向け前進

中央新幹線に関する動向

交通政策審議会

国の交通政策審議会は、5月12日に中央新幹線の整備計画決定に関する答申を国土交通大臣に行いました。答申では、中央新幹線整備の意義として、三大都市圏を高速かつ安定的に結ぶ幹線鉄道路線の充実、沿線地域に与える効果、沿線都市郡の再発展、世界をリードする先進鉄道技術の確立と多産業への波及効果についてが記述されることも、走行方式については、超電導リニア方式、ルートは、南アルプスルート、指名する営業及び建設主体は、東海旅客鉄道㈱（JR東海）が適当であるとされました。

整備計画の決定

国土交通大臣は、5月26日に全国新幹線鉄道整備法に基づき、中央新幹線の区間は「東京都・大阪市」間とすること、走行方式は、「超電導磁気浮上方式」とすること、主な經由地を「甲府市附近、赤石山脈中南部、名古屋市附近、奈良市附近」とする整備計画を決定しました。このことにより、南アルプスルートが確定することも、飯田下伊那への中間駅設置が確実となりました。

その後、JR東海に対して中央新幹線の「建設指示」が行われ、いよいよ着工に向けて大きく前進することとなりました。

全国新幹線鉄道整備法(昭和45年5月18日法律第71号)第7条第1項の規定に基づき、中央新幹線の建設に関する整備計画を下記のとおり決定する。

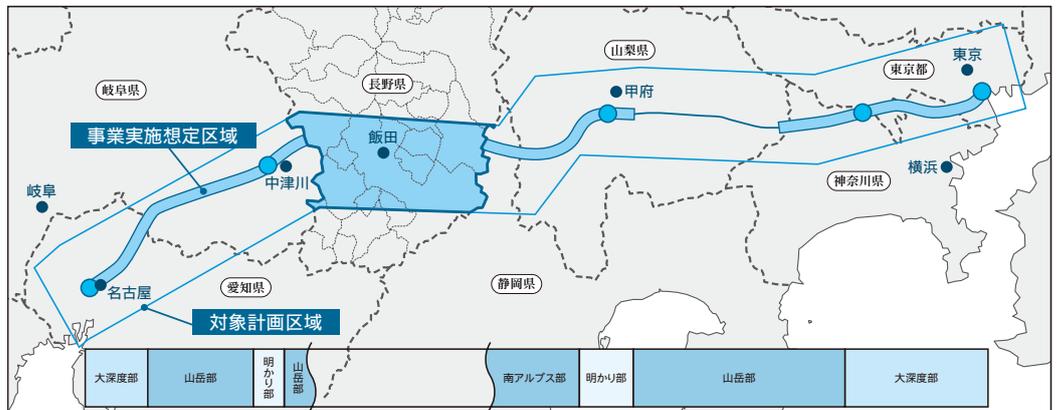
平成23年5月26日

国土交通大臣 大島 章 宣

建設線	中央新幹線
区間	東京都・大阪市
走行方式	超電導磁気浮上方式
最高設計速度	505キロメートル/時
建設に要する費用の概算額(車両費を含む)	90,300億円
その他の重要な事項	主要な経路地 甲府市附近、赤石山脈(南アルプス)中南部、名古屋市附近、奈良市附近

(注) 建設に要する費用の概算額には、料子を含みません。

対象計画区域及び事業実施想定区域



※本配慮書においては、長野県に係る区間について、事業実施想定区域(概略ルート)および概略の駅配置についての記載はしておりません。今後、補完して公表します。 出所:環境配慮書を抜粋加工

環境配慮書の公表

6月7日、建設指示を受けたJR東海は、環境影響評価法に基づき、計画段階において実施する環境配慮書を公表しました。この中で、長野県内を除く調査範囲として、中央新幹線の3km幅のルートおよび5km幅の概略駅位置が示されました。県内については今後十分な調整が図られてから示される予定です。

地域の取り組み経過

南信州地域においては、昨年策定したリニア将来ビジョンや広域連合会議・広域連合議会において意見集約された内容に基づき、①リニアを見据えた戦略的地域づくりへの支援、②安全性と環境への配慮、③駅設置費の合理的なあり方、④駅位置に関する十分な協議等を、長野県知事やJR東海に対して要望してまいりました。今後も、関係機関と十分協議を重ね、リニア中央新幹線の早期実現と飯田駅設置に向け推進してまいります。

長野県の動向

長野県においては、6月21日に長野県中央新幹線建設促進長野県協議会が開催され、長野県全体としての意見集約と決議が行われました。決議文では、県として改めて南アルプスルートを尊重することを確認することも、リニア中央新幹線が県内交通の利便性や地域の発展に寄与するものとなるよう強く結集し、早期着工に向けて取り組むことが明記されました。またJR東海に対しては、水源等の環境、文化、景観等の保全に配慮することや、ルートや駅位置については、アークセブヤまちづくりの観点を考慮する真摯な対応を求めています。

開業までのスケジュール

環境配慮書が公表されたことから、今後は、環境影響評価を経て、工事実施計画書の申請及び認可が行われ、着工されます。

4月21日	答申(案)公表
4月22日～5月5日	パブリックコメントの募集
5月12日	交通政策審議会小委員会 国土交通大臣へ答申
5月20日	東海旅客鉄道株式会社を 建設主体・営業主体に指名
5月26日	整備計画の決定
5月27日	JR東海に建設を指示
6月7日	環境配慮書の公表

環境影響評価	
工事実施計画の申請・許可	
H24年度	着工(東京-名古屋間)予定
H30年頃	山梨-神奈川で区画運転開始
H37年目標	東京(品川)-名古屋間で開業
H45年	大阪まで延伸

東日本大震災被災者支援の取組

3月16日の広域連合会議において、東北地方太平洋沖地震被災者支援として、定住自立圏サミットを通じて交流があった福島県南相馬市民被災者受入支援の取組を決定し、圏域を挙げての被災者の受入を行いました。現在までの取組状況を報告いたします。

1. 地震の概要（東日本大震災）

3月11日14時46分頃三陸沖で発生した地震〔M9.0、深さ10km〕により、県内では佐久市白田、佐久市中込、南牧村海ノ口で震度5弱を観測しました。また、北海道・東北・関東・東海・甲信越・北陸・近畿・中国・四国・九州地方にかけて震度7～1を観測しました。

気象庁はこの地震を「平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震」と命名いたしました。

その後、政府はこの地震による一連の被害を「東日本大震災」と呼んでいます。

なお、長野県で震度5弱の地震を観測したのは、平成21年8月11日の駿河湾の地震（M6.5）により泰阜村で震度5弱を観測して以来です。

2. 福島県南相馬市からの被災者受入について

(1) 経過

- ア 受入決定 3月16日(水) 南信州広域連合会議において、圏域を挙げての受入を決定
- イ 出迎え発 3月16日(水) 午後8時20分 現地に向けて出発
- ウ 出迎え着 3月17日(木) 午後10時50分 りんごの里（飯田市）着～各受入施設へ103人を南信州広域連合（飯田・下伊那地域）として受け入れました。

(2) 受入施設及び人数

(6月1日現在)

施設名	市町村名	人数	施設名	市町村名	人数
風越山麓研修センター	飯田市	19	町内住宅	高森町	5
天竜峡温泉交流館	飯田市	18	村営住宅	下條村	5
旧 仙永堂 医院	飯田市	11	村営住宅	泰阜村	10
介護老人保健施設	飯田市	1	村営住宅	喬木村	2
ハートヒル川路	飯田市	2	憩の家	豊丘村	14
教員住宅	松川町	5	桧原研修所	根羽村	5
合 計					97

(3) 受入の現況

- 現時点では、避難者支援に必要な物資について食事を含めて受入市町村で整備
- 受入施設においては、1家族単位での生活ができるような部屋割りを実施
- 受入各市町村では、日常生活必需品、家電の調達や食事に関する手配、保健指導など一切の支援を行っています。

(4) その他の取組

- 阿智村・昼神温泉旅館組合・旅館協同組合の連携により、避難者1名につき3泊まで無料宿泊の実施を決定し随時実施中
- 現在、被災者の受入は行っていない町村においても、受入要請があった場合、可能な限り受入が出来るよう体制を整備しています。

多くの郡市民や各種団体の皆様から、心温まるご支援をいただいておりますことに対しまして、改めて感謝申し上げます。

東日本大震災 飯田広域消防本部から宮城県へ救助隊を派遣



救助・捜索活動（宮城県名取市）

東日本大震災から私たちに求められていることがあります。それはまず、私たち一人ひとりが、発生が心配されている東海地震の強化地域に住んでいることを強く認識したうえで、改めて「個人で」、「家庭で」、「地域で」できる防災対策を継続して行うことです。

被災地支援の概要

平成23年3月11日(金)14時46分頃、東日本大震災は日本の観測史上最大となるM9.0を記録するとともに想定をはるかに超えた大津波が発生し、東北地方の太平洋沿岸を中心に多くの尊い命が失われました。

飯田広域消防本部では、地震発生から約3時間後に救助隊を中心とした緊急消防援助隊を出動させ、長野県内の消防本部とともに宮城県塩竈市、名取市、多賀城市、七ヶ浜町で、24日間延べ19隊76人が救助・捜索活動を行いました。この間、74人（うち生存者34人）を救出し135人を救急搬送しました。



救助活動（宮城県多賀城市）



被災地での出動

緊急消防援助隊とは

緊急消防援助隊は、阪神・淡路大震災（1995年）の教訓をもとに、全国の消防本部相互による応援体制として1996年6月に発足しました。現在、緊急消防援助隊として4,354隊が登録されており、飯田広域消防本部では14隊を登録しています。飯田・下伊那地域で大規模な災害が発生した場合、県内や他県から応援部隊が出動してきます。

発生が心配される東海地震

飯田・下伊那地域は東海地震の強化地域に指定されています。

東海地震は、駿河湾を震源とするM8.0程度の地震で、おおむね100年～150年の間隔で大規模な地震が発生していますが、安政東海地震（1854年）から156年間大地震が発生していないため、いつ大地震が発生してもおかしくないと考えられています。

東海地震は、唯一直前予知（地震の前兆現象をとらえる）に向けた観測体制がとられており、予知された場合には「警戒宣言」が発令され、事前避難・交通規制等の対策を講じることとなります。

	東海地震被害想定	
	長野県	全国
死者数	100人	9,200人
全壊棟数	4,200棟	260,000棟

出典：中央防災会議

新たな被害の想定

東日本大震災は、発電施設の被災により、広い地域で電力不足が発生しました。飯田・下伊那地域の地震被害が軽微であった場合でも、発電施設の被災により長期停電に見舞われる可能性があります。

東海地震に関する情報の流れ

東海地震に関連する調査情報

観測データに異常

注意情報

前兆現象の可能性が高まった

警戒宣言
予知情報

東海地震が発生するおそれがある

大規模地震に備える

◆ 備蓄品・非常持出袋を備える

地震が発生すると普段どおりの生活ができなくなることも考えられます。最低限3日間生活できるだけの「備蓄品」を備えておきましょう。

地震の被害によっては、避難を余儀なくされることもあります。避難する時に持ち出す「非常持出袋」へは、水や食料のほか、**自分や家族にとって本当に必要なもの**を考えて準備しておきましょう。



◆ 家庭での防災会議

地震の時に家族が慌てずに行動できるよう、日頃から話し合い、情報を共有しておきましょう。

- 家の中でどこが一番安全か。
- 避難所、避難路はどこか。

◆ 家族との連絡方法の確認

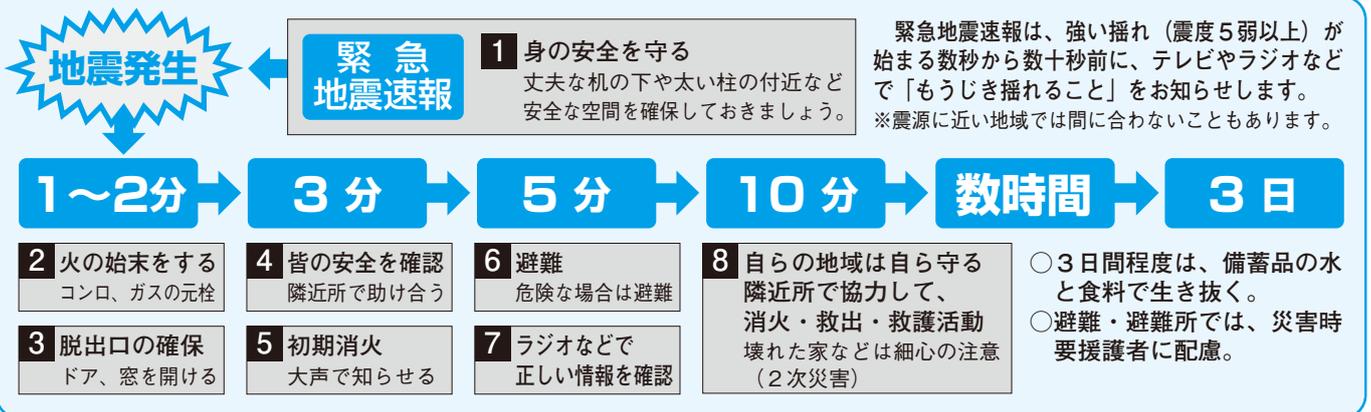
家族が離ればなれで被災した時を考えて、お互いの安否の確認手段を考えておきましょう。

- NTTの「災害伝言ダイヤル171」
- 携帯電話の「災害用掲示板」

◆ 防災活動への参加

地域の自主防災組織などの活動に家族で参加し、**普段から地域で協力し合う体制**を築いておきましょう。

揺れたら、落ち着いて行動を！



平成23年南信州広域連合議会 第1回臨時会

平成23年5月25日(水) 飯田広域消防本部 3階大会議室

**議長に上澤 義一氏（飯田市）、副議長に下平 豊久氏（豊丘村）を選出
監査委員に中島 善吉委員、原 嘉俊委員を選任**

飯田市、天龍村議会の構成変更、阿南町、根羽村、下條村、泰阜村、豊丘村、大鹿村議会議員の任期満了に伴う、議員辞職許可報告、議席の指定がされました。また、正副議長の欠員に伴い選挙が行われ、議長に上澤義一氏、副議長に下平豊久氏が選出されました。

会期について、議会運営委員会（林 幸次委員長）から報告があり、1日間と決定しました。提出議案は、人事案件1件、条例案件1件、予算案件1件で、原案どおり同意、可決されました。

議案の内容

- 議案第12号 南信州広域連合監査委員の選任について
- 議案第13号 南信州広域連合ごみ処理施設建設検討委員会条例の制定について
- 議案第14号 平成23年度南信州広域連合飯田広域消防特別会計補正予算（第1号）

全員協議会

1. 議会検討委員の指名
2. 議会運営委員会からの報告
3. 広域連合会議の在り方について
4. 第3次広域計画 調査研究プロジェクトについて
5. リニア中央新幹線について
6. ごみ処理施設建設検討委員の選出について
7. 東日本大震災被災者支援の取組について
8. 東日本大震災に係る飯田広域消防緊急消防援助隊の派遣について
9. 平成23年1月からの火災多発について
10. 南信州地域公共交通の取組について
11. 南信州マーケティングショップについて
12. 三六災害50年事業について



南信州広域連合議会議員名簿

議席番号	氏名	市町村名	議席番号	氏名	市町村名
1	松下 隆夫	大鹿村	18	田切 征勝	高森町
2	下平 豊久	豊丘村	19	松下 敏彦	松川町
3	松村 正三	豊丘村	20	白川 靖浩	松川町
4	横前 豊	喬木村	21	米山 由子	松川町
5	原 嘉俊	喬木村	22	新井信一郎	飯田市
6	木下 藤恒	泰阜村	23	木下 克志	飯田市
7	堤本伊那人	天龍村	24	木下 容子	飯田市
8	後藤 文登	売木村	25	下平 勝熙	飯田市
9	宮嶋 清伸	下條村	26	村松まり子	飯田市
10	坂巻 博文	根羽村	27	後藤 莊一	飯田市
11	村松 是伸	平谷村	28	伊壺 敏子	飯田市
12	熊谷 時雄	阿智村	29	中島武津雄	飯田市
13	上原 耕平	阿智村	30	上澤 義一	飯田市
14	勝又 進	阿南町	31	林 幸次	飯田市
15	仲藤 重孝	阿南町	32	井坪 隆	飯田市
16	清水 晴義	高森町	33	原 和世	飯田市
17	宮外 正彦	高森町			

平成22年度下期の財政状況を報告します

南信州広域連合 会計別財政状況 (単位：千円)

会計区分	予算現額	収入済額		支出済額	
		金額	収入率	金額	執行率
一般会計	2,047,015	1,737,888	84.9	1,581,197	77.2
南信州広域振興基金特別会計	24,820	28,907	116.5	20,322	81.9
飯田広域消防特別会計	2,050,223	2,029,848	99.0	1,936,105	94.4
阿南学園特別会計	578,319	552,112	95.5	529,095	91.5

【一般会計】

〈土地〉44,356.23㎡
・飯田環境センター
〈建物〉19,478.73㎡
・飯田環境センター
〈基金〉655,750,342円
・財政調整基金
・リニア中央新幹線飯田駅設置推進基金
・大学設置推進基金
・ごみ中間処理施設整備基金
・し尿処理施設整備基金
・阿南学園施設整備基金
〈地方債〉2,601,716千円
・財政融資資金
・公営企業金融公庫資金
・飯田信用金庫

【飯田広域消防特別会計】

〈土地〉13,714.94㎡
・3消防署、4分署
〈建物〉7,063.93㎡
・3消防署、4分署 他
〈基金〉942,608,416円
・財政調整基金
・退職手当積立基金
〈地方債〉47,095千円
・長野県市町村振興資金
・簡易生命保険

【南信州広域振興基金特別会計】

〈基金〉2,000,000千円
・広域振興基金

【阿南学園特別会計】

〈建物〉3,064.20㎡

もったいない!! ごみ搬入量の半分は「紙」、その中に「紙資源」多々あり

「紙資源」となる物の例…チラシ、菓子箱、包み紙、コピー用紙、紙袋、ラップの箱、紙製パック等
 ※資源になる紙の分別をお願いします。出す時の紙の分類は市町村により異なります。

ごみ搬入量

桐林クリーンセンターへ搬入された22年度の燃やすごみの量は、次のとおりです。13市町村平均で前年度比98.16%と減少しています。一人ひとりの分別とリサイクルへの取り組みの成果と見られます。

「生ごみも資源」です。

毎年夏場は水分の多い果物・野菜くずなどの生ごみが多くなります。市町村で補助制度を設けている施策を活用して、焼却処理する量をできるだけ減らしましょう。やむを得ずごみとして出す場合は、しっかり水切りをしてから紙に包みごみ袋へ入れるなどのご協力を特にお願います。

	燃やすごみ搬入量(単位:t)		前年度比 H22/H21
	H21	H22	
飯田市	18,190.84	17,868.12	98.23%
松川町	1,569.93	1,497.30	95.37%
高森町	1,138.95	1,146.72	100.68%
阿南町	381.35	376.27	98.67%
阿智村	818.14	809.49	98.94%
平谷村	21.88	20.99	95.93%
下條村	280.28	271.01	96.69%
売木村	48.71	45.02	92.42%
天龍村	161.63	155.86	96.43%
泰阜村	95.98	92.00	95.85%
喬木村	577.65	561.09	97.13%
豊丘村	486.23	484.19	99.58%
大鹿村	78.42	82.73	105.50%
合計	23,849.99	23,410.79	98.16%
前年度比	96.31%	98.16%	

桐林リサイクルセンター 環境学習講座開幕

桐林リサイクルセンターでは環境学習講座を毎月1回開催します。(小学生親子対象は隔月1回程度)
 7・8月の日程はご覧のとおり。リサイクルセンターを見学しながら是非お越しください。

一般対象	小学生親子対象 (小学生のみでも可)
<p>《第2回講座》</p> <p>○テーマ 原子力発電所問題から考える新エネルギーと省エネルギー実践 ー家庭の省エネ実践体験紹介</p> <p>○期日 8月27日(土)</p> <p>○時間 午後1時30分～3時</p> <p>○会場 桐林リサイクルセンター 会議室</p> <p>○講師 松澤 肇 (環境カウンセラー)</p> <p>○参加 一般の方どなたでも参加無料</p> <p>○申込み 参加申込み必要 (電話・FAX)</p>	<p>《環境わくわく体験講座 第1回》 《環境わくわく体験講座 第2回》</p> <p>○テーマ 様々なエネルギー比較実験 & エコワットで調べる 太陽炉クッキング & ペットボトルロケット作り 省エネ家電</p> <p>○期日 7月31日(日) 8月21日(日)</p> <p>○時間 午前10時30分～12時 午後1時～2時30分</p> <p>○会場 桐林リサイクルセンター 会議室</p> <p>○講師 湯澤真理子 (環境アドバイザー)</p> <p>○参加 小学生親子どなたでも参加無料 人数制限あり</p> <p>○申込み 参加申込み必要 (電話・FAX)</p>
申込み・問い合わせ 南信州広域連合 桐林リサイクルセンター TEL 0265-26-1050 FAX 0265-26-1051 (桐林クリーンセンター構内) ホームページ http://www.kiri-rc.com/	

【9月以降年間計画】

一般			小学生親子 (小学生のみでも可)		
月	テーマ	講師	日	テーマ 《環境わくわく体験講座》	講師
9月	日本のエネルギーは大丈夫? ー原子力事故から電力資源を考える	環境アドバイザー 小池晴人	9/18 (日)	サイダー作りで学ぶ二酸化炭素の性質 & 曲が吹けるリユース笛作り	環境アドバイザー 湯澤真理子
10月	リサイクル工場からの情報発信と見学	エコトピア飯田(株)			
11月	わくわく環境体験 「ごみを生かせ、へらせ、明日の地球船」	環境アドバイザー 青木伸仁	11/27 (日)	カラフルキャンドル作り & 二酸化炭素排出量の比較	環境アドバイザー 湯澤真理子
12月	森林に親しむ暮らしと健康	環境アドバイザー 福島紀雄			
24年 1月	経済的にもおとくな買い物からエネルギーの削減を!!	環境カウンセラー 今村良子	1/末	リサイクルを目で確かめよう ーリサイクル工場見学	環境アドバイザー 林 直幸
2月	古着や古布を使ってアップリケ作りやリフォームを	環境アドバイザー 森下たまき	2/5 (日)	リユース冷温両用カイロ作り & 雪でアイスクリーム作り	環境アドバイザー 湯澤真理子
3月	資源と環境を守る3Rの取組ー未来に安定した生命と資源を引き継ぐために	環境アドバイザー 小池晴人			

※テーマ名等変わることがあります。 ※日程等詳細はその都度広報紙等でお知らせします。

飯伊建築業協会に感謝状

飯伊建築業協会（古田満会長、会員26社）は平成14年から毎年、高齢者福祉に役立てて欲しいと南信州広域連合に車椅子を寄贈、今年で10年、計26台をいただきました。

南信州広域連合では、長年にわたり高齢者福祉の向上に寄与されてきたことに対し、6月16日広域連合会議で感謝状を贈り表彰しました。車椅子は重度化する入所者に対応できるようチルト・リクライニング機能がついており、配分した特別養護老人ホームで喜ばれています。



三六災害シンポジウム

今年は昭和36年6月に伊那谷を襲った大災害、通称「三六災害」から50年という節目の年です。これを契機とし、災害を風化させず教訓として継承していくため、6月19日(日)飯田文化会館においてシンポジウムが開催されました。元日本演出者協会理事長、ふじたあさや氏により制作・演出された「演劇の記録 三六災害五十年」の公演は、演劇集団「演劇宿」と三六災害被災地域の方々を中心としたメンバーが出演し、芝居・語り・合唱・映像を織り交ぜた芸術性の高い作品となりました。当時の地域住民がどのように支え合い協力したのか、リアリティーあふれる表現で伝えられ、地域の防災意識向上と自発的な防災への取り組みの発展を印象づけました。シンポジウムではこのほかに、理学博士松島信幸氏による基調講演や、災害対策に携わる関係者の皆さんによるパネルディスカッションが行われました。



2011湯～らり～南信州

南信州の温泉施設をめぐるスタンプラリーを開催しています！

南信州の温泉は、お風呂の造り、泉質、露天風呂から眺める景色など、施設それぞれに特色があります。また温泉の近くには、地域の食材を使った美味しい料理が味わえるお店や、自然の美しさを体感できるスポットがたくさんあります。休日は心と体のリフレッシュに南信州の温泉巡りはいかがでしょうか。

パーフェクト賞 (全ての施設を入浴された方)

- (1) 無料入浴スタンプ券(回数券) ……達成者全員
- (2) 湯～らり～商品券1万円分 ……抽選で5名様

お楽しみ賞 (5ヶ所以上の施設で入浴された方)

- (1) 各施設提供のお楽しみ商品 ……抽選で60名様
- (2) 南信州特産品セット ……抽選で10名様

【応募期間】

平成23年10月1日(土)から
平成24年2月29日(水)まで

右パンフレットでご応募ください。
(湯～らり～参画施設・道の駅・
南信州広域連合事務局にあります)

【お問い合わせ】

湯～らり～南信州温泉
連絡協議会事務局

TEL : 0265-53-7100
FAX : 0265-53-7155



minami
shinshu
ニッポンの日本。

南信州広域だより VOL.54 2011.7

南信州広域連合 飯田市追手町2丁目678 (長野県飯田合同庁舎内)
TEL 0265-53-7100 FAX 0265-53-7155 URL <http://mi7mi.org/>
南信州の観光情報は「南信州ナビ」へ <http://www.ii-s.org/>

